

水防・防災訓練を

実施しました 5/19



積土のう工法訓練

扶桑緑地公園において、木曽川のはん濫を想定した水防・防災訓練を実施しました。

尾張地域の7水防団のほか、防災関係機関、自主防災会、女性消防クラブ、ボランティア団体等が参加し、住民参加による積土のう工法訓練や応急救護訓練、炊き出し訓練等が行われ、水防・防災意識の高揚を図りました。

災害はいつ起こるかわかりません。いざという時に備えて、今一度家庭で話し合い、防災意識を高めましょう。



応急救護訓練



炊き出し訓練



防災啓発展示

◆ひまわりあんしん情報メールに登録しましょう

防災や防犯、火災などの情報を自動で受信することができます。町ホームページをご覧ください。
(広報紙表紙のQRコードでも登録できます。)

5/26 人命救助で感謝状を受けました

扶桑町ソフトテニス協会は、練習試合中に意識不明になった男性に対し胸骨圧迫を施すなど、人命救助を行ったとして、丹羽広域事務組合消防本部より感謝状を受けました。



災害時に備え、自治体間での助け合いを

5/29

2市3町広域行政研究会（扶桑町、小牧市、岩倉市、豊山町、大口町）で災害時相互応援協定を締結しました。

2市3町広域行政研究会では、平成25年度から「防災部会」を設けて、「連携可能な事項」の研究を進めてきました。大規模災害が発生した場合に、被災した市町単独では十分な応急措置が実施できない事態を想定し、応急対策及び復旧対策を円滑に遂行できるように、この度、締結式を行いました。

大規模災害が発生した場合、被災した自治体側の要請に応じ、食料、飲料水、資機材などの物資提供、被災者の一時的受入れ、職員の派遣を行います。

また、平時についても、市町の物資の備蓄状況や連絡体制などの情報交換を行います。

